

エコアクション21 環境経営レポート 2023年

対象期間2023年1月1日～2023年12月31日



発行日 2024年2月26日

 平沢電機株式会社

目 次

1 組織の概要

- 1-1 事業者名、所在地、事業の概要 事業の規模
- 1-2 沿革
- 1-3 設備概要

2 対象範囲

- ・環境経営組織図

3 環境経営方針

- ・環境経営理念 環境経営方針

4 環境経営目標

- 4-1 中期環境経営目標
- 4-2 2023年環境経営目標

5 環境経営計画

6 環境経営計画に基づき実施した取組内容（実施体制を含む）

7 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価

（実績には二酸化炭素排出量を含む）、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

- 7-1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価
- 7-2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

「環境法令等登録書兼チェック表」より

9 代表者による全体評価と見直し・指示

マネジメントレビューより

10 その他の取り組み、トピックス

- ・環境マニュアルの大幅な見直し
- ・4年連続「健康優良法人」認定
- ・長野県SDGs推進企業として活動中
- ・総合防災訓練・全体研修実施

1. 組織の概要

1-1 事業者名、所在地、事業の概要、事業の規模

(1) 事業者名 平沢電機株式会社
 代表者名 代表取締役 平澤 敏樹

(2) 所在地 本社工場 〒399-4431長野県伊那市西春近2900番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 事務局 総務部門長 浦野 安明

担当者 同上

連絡先 電話 0265-72-4136 F A X 0265-76-1990

ホームページ <https://www.hirasawadenki.com/>

e-mail info@hirasawadenki.com

(4) 事業の規模等

1) 創業 昭和35年7月

2) 事業規模 右表

3) 資本金 1000万円

活動規模	単位	2021年	2022年	2023年
生産量	百万円			
売上高	百万円	507	680	592
従業員	人	65	77	73
床面積	m ²	7260	7260	7260

(5) 事業内容

精密機器の部品加工・検査・組立

1-1 沿革

昭和35年 日立家電販売修理を業務として平沢電機株式会社を設立
 昭和40年 工作所設立、オリンパス製品加工開始
 昭和43年 オリンパス顕微鏡組立開始
 昭和49年 オリンパス光学、カメラ組立開始
 昭和59年 本社工場（延べ床面積3,300m²）建設工作所・中央工場を併合集約
 昭和63年 姉妹会社(株)アジアエレクトロニクス設立
 平成 1年 信濃特機(株)子会社の天竜特機(株)を引き継ぎグループ 3社とする
 平成 2年 資本金1,050万円に増資
 平成 7年 本社工場南側増築工事完了
 平成 9年 本社工場北側増築工事完了
 平成12年 ISO9001取得
 平成17年 1F北側工場改築（延べ床面積5,980m²）
 平成18年 環境 エコアクション21取得
 平成19年 北側新工場建築（5軸加工機専用）（延べ面積7260m²）
 平成20年 厚生労働省快適職場認定
 平成21年 エコ通勤優良事業所認証
 平成25年 長野県労働局長奨励賞受賞
 平成27年 エコアクション21 登録・認証10年継続事業者表彰
 令和 1年 A Mシステムズ(株)業務提携
 令和 2年 JIS Q 9100 取得（ISO 9001:2015 移行済）

1-3 設備概要

種類/Category	メーカー/Maker	形式/Type	移動量/Distance X・Y・Z(mm)	特徴/Features	台数/Number	
マシニングセンタ/MC	安田工業/YASDA	★YBM-1200N ③	X3000 Y2100 Z1500	横形 4パレット仕様 /Transversal 4 Pallets	1台/1ea	
	新日本工機 /SHIN NIPPON	RB-350F ②	X8000 Y3500 Z1700	門形 5軸 /Gantry 5 Axis	1台/1ea	
	東芝機械 /TOSHIBA MACHINE	MPF-3140DS	X4000 Y3100 Z715	門形/Gantry	1台/1ea	
	牧野フライス/MAKINO	a51	X560 Y560 Z560	横形 8パレット仕様 /8 Pallets	1台/1ea	
	牧野フライス/MAKINO	★a51nx ⑤	X560 Y640 Z640	横形 立体3段パレット仕様 /3 Decker Pallets	1台/1ea	
	2024年1月導入(1台追加)	牧野フライス/MAKINO	★a51nx	X560 Y640 Z640	横形 2パレット仕様 /2 Pallets	2台/2ea
	牧野フライス/MAKINO	★a81	X900 Y800 Z1020	横形 8パレット仕様 /8 Pallets	1台/1ea	
	安田工業/YASDA	★H40i	X875 Y740 Z685	横形5軸立体2段パレット仕様 /5 Axis 2 Decker Pallets	1台/1ea	
	牧野フライス/MAKINO	★a61nx	X730 Y730 Z680	横形5軸立体3段パレット仕様 /5 Axis 3 Decker Pallets	1台/1ea	
	牧野フライス/MAKINO	★a500Z ④	X730 Y750 Z500	横形5軸立体3段パレット仕様 /5 Axis 3 Decker Pallets	1台/1ea	
NC旋盤/NC LATHE	牧野フライス/MAKINO	FNC156	X1500 Y600 Z560	立形/Vertical	1台/1ea	
	牧野フライス/MAKINO	GN1712	X1700 Y1200 Z700	立形/Vertical	1台/1ea	
	ツガミ/TSUGAMI	NU4Y	X135 Y50 Z190		3台/3ea	
	ヤマザキマザック /YAMAZAKI MAZAK	★INTEGREX i-500S 2500U ①	X845 Y430 Z2594	背面加工可能 /Back Face Processing	1台/1ea	
	ヤマザキマザック /YAMAZAKI MAZAK	★INTEGREX 200-ⅢS	X580 Y160 Z1045		1台/1ea	
	ヤマザキマザック /YAMAZAKI MAZAK	★INTEGREX 300-ⅢS	X630 Y230 Z1585	背面加工可能 /Back Face Processing	1台/1ea	
	ヤマザキマザック /YAMAZAKI MAZAK	INTEGREX300Y	X580 Y210 Z1095		1台/1ea	
NCフライス盤 /NC MILLER	森精機製作所 /MORI SEIKI	ZL-250MC	X235 Y170 Z615		1台/1ea	
	牧野フライス/MAKINO	AEV-85	X850 Y500 Z400		1台/1ea	
	三次元測定器 /3 Dimensional CMM	ミットヨ/MITUTOYO	★Bright-Apex1220	X1205 Y2005 Z1005		1台/1ea
ミットヨ/MITUTOYO		CRYSTA- ApexS9106	X905 Y1005 Z605		1台/1ea	
三次元画像寸法測定器	キーエンス/KEYENCE	LM-100TL		3つの方法により高精度測定を実現	1台/1ea	

使用しているCAD/CAMソフト/ Using CAD/CAM software

- VERICUT (CGTech)
- AutoCAD (AUTODESK)
- CATIA V5(Dassault Systems)
- NCVIEW (Cimple Tech)
- CAM-STAFF (SOFTECh)
- Mastercam (CNC Software) 3台/3ea
- SolidWorks (Dassault Systems) 3台/3ea

①



②



③



④



⑤



2. 対象範囲

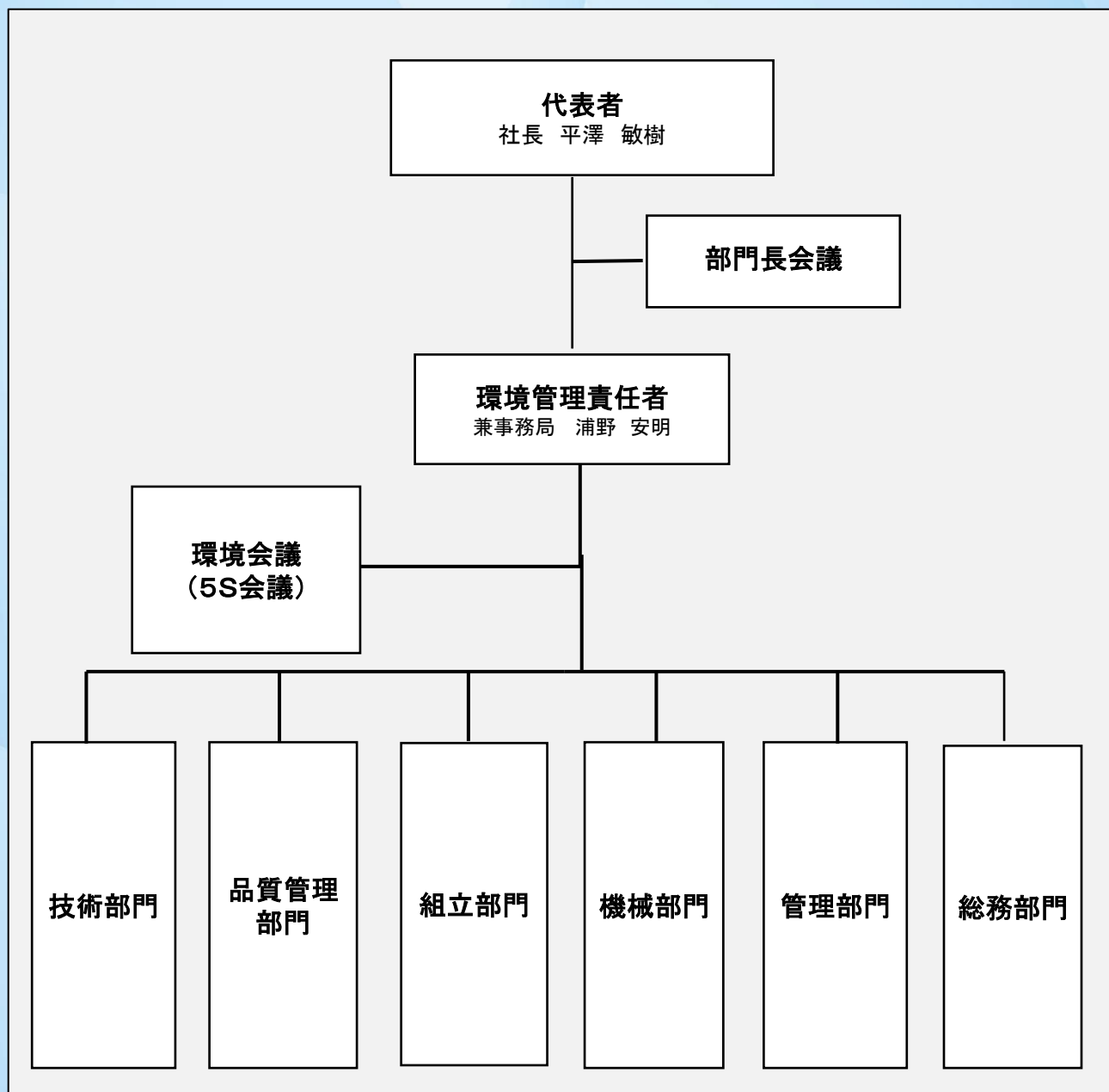
対象期間： 2023年1月1日～2023年12月31日

発行日： 2024年2月26日

対象範囲： 長野県伊那市西春近 2898番地～2900番地にある平沢電機株式会社の所有するすべての土地・建造物とそこで働く全従業員が対象組織であり、その組織のすべての活動をもってエコアクション21に取り組み、環境経営システムを構築、運用、維持するものとする。

平沢電機株式会社は以下の組織に基づき環境活動を行っている。

E A 21環境経営組織図



3. 環境経営方針

<平沢電機株式会社 環境経営方針>

環境経営理念

自然環境に優れたこの地に存在する私達 平沢電機株式会社は、この豊かな自然環境に感謝と誇りの念を持ち、一人ひとりが自主的な環境保全の意識を持って環境負荷低減に向けた活動を行い、人と地球にやさしい工場作りを目指します。

環境経営方針

- 1.適用される環境関連法規等や当社が約束したことを遵守します。
- 2.製造部門での品質安定化・製造工程短縮化によって二酸化炭素排出量・使用化学物質・廃棄物・水の使用量の削減、及び省資源の推進をはかります。
- 3.事業活動によって生じる廃棄物のリサイクル化に取り組みます。
- 4.環境や資源に配慮した製品や原材料調達を心がけます。
- 5.水質汚濁の防止に努めます。
- 6.全従業員に朝礼、会議、研修、掲示等でこの環境方針を周知・理解させ、環境に関する教育訓練を行います。
- 7.従業員にエコ通勤をすすめ、社用車でのエコ運転の実施に努めます。
- 8.経営における課題とチャンスを考慮して環境経営目標を定め、それに取り組み、定期的に見直しをすることにより環境経営の継続的な改善を行います。

2018年12月25日
平沢電機株式会社
代表取締役社長 平澤 敏樹

4. 環境経営目標

5. 環境経営計画

1) 中期環境経営目標(2022-2024)は以下の通り 計画を含む

環境目的	具体的目標	責任者/対象部門	基準年度 or 基準値	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素の排出量削減	総務部門長/ 全社	前年実績 1%減	2021年実績 1%減	2022年実績 1%減	2023年実績 1%減
	冬季(12月~2月)を除いたエコ通勤の維持継続・エコドライブ実施(管理部門)	総務・管理 部門長/ 全社	2021年目標値+1日	31日/月以上	31日/月以上	31日/月以上
廃棄物排出量削減	可燃ゴミと廃油削減	総務部門長・ 機械部門長 (廃油)/全社	各前年実績 1%減	2021年実績 1%減	2022年実績 1%減	2023年実績 1%減
	機械・備品の長期使用	製造部門長/ 製造部門	部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
水使用量削減	水源投入量維持管理	総務部門長/ 全社	前年実績の 1%減	2021年実績 1%減	2022年実績 1%減	2023年実績 1%減
	使用禁止物質の使用 禁止 使用化学物質削減管理	管理・製造 部門長/ 管理・製造 部門	維持 部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
グリーン購入の実施	グリーン購入継続維持	総務・管理 部門長/ 総務・管理 部門	活動維持	各部門目標	各部門目標	各部門目標
製品への環境配慮 その他	売上・利益UP	総務・管理・ 技術各部門長 / 同部門	部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
	工程時間削減・環境 負荷削減の工夫	製造・技術 部門長/ 製造・技術 部門	部門目標	各部門目標	各部門目標	各部門目標
	不良損金削減	品質管理 部門長/ 機械部門	品質目標と 同じ	各部門目標	各部門目標	各部門目標

2) 2023年環境経営活動計画

環境目的	具体的目標	責任者/対象	目標値等	2023年の主な行動計画
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素の排出量削減	総務部門長/ 全社	前年実績1%減 (対昨年月毎)	① デマンドコントローラー・スマートク ロックによる監視・管理② 節電対策実施 ③ 節電設備検討 ④ 省エネ委員活動 ⑤ 節電表による管理継続
	冬季(12月~2月)を 除いたエコ通勤の 維持継続・エコドライ ブ実施(管理部門)	総務・管理 部門長/全社	31日/月以上	① エコ通勤呼びかけ、活動報告掲示 ② 駐輪場整備・自転車点検整備等 ③ 信州スタートムーブ参加 ④ 社用車のエコドライブの実施
廃棄物排出量削減	可燃ゴミと廃油削減	総務・機械 部門長 (廃油) / 全社	前年実績1%減 (ゴミ184.80kg/ 月以下) (廃油1.567t/月以 下)	① リサイクルゴミ仕分け徹底呼びかけ ② 月ごと結果発表掲示 ③ コピー両面使用 ④ 電子媒体促進、配布書類削減 ⑤ 廃棄切削油 把握と削減 ⑥ 油漏れ対 策
	機械・備品の長期使用	製造部門長/ 製造部門	部門目標	① 予知保全を考慮した各種設備備品日常・ 定期点検の実施 ② 整備点検教育の実施 ③ 各種精度点検の実施 ④ レベル点検 ⑤ 設備保全技能教育
水使用量削減	水使用量維持管理	総務部門長/ 全社	前年実績1%減 (89.67 t /月以下)	① 毎月使用量内訳再把握 ②水漏れ点検 ③ 生活排水の節水呼びかけ ④月使用量 のグラフ作成掲示
化学物質使用量削減	使用禁止物質の使用禁 止 使用化学物質削減管理	管理・製造 部門長/ 管理・製造 部門	維持 部門目標	① 使用禁止物質の含有量調査(客先調査協 力時)記録(管理部門) ② 新規溶剤等購入時にSDS取得 ③ 主要溶剤・切削油管理・削減(製造 部門)
グリーン購入の実施	グリーン購入継続維持	総務・管理 部門長/ 総務・管理 部門	活動維持	① グリーンサプライヤーからの購入維持 ② グリーン調達基準に基づく購入継続
製品への環境配慮 その他	売上・利益UP	総務・管理・ 技術各部門長 / 同部門	部門目標	① 新規品の取り込み、新規開拓 ② 材料費の見直し ③ 経費節減 営業外収益
	工程時間削減・環境負 荷削減の工夫	製造・技術 部門長/ 製造・技術 部門	部門目標	① 工数把握 加工時間短縮 ② 工程管理表の有効活用 ③ プログラム修正 ④ 工程削減治具作成 ⑤ 外段取りの構築 ⑥ 環境負荷削減の工 夫・検証
	不良損金削減	品質管理 部門長/ 機械部門	24万/月以下	①不良集計表の作成・掲示 ②不良原因調査・対策実施 ③不具合対策表・不良損金報告書作成

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容 (実施体制を含む)

1 排出量削減

- ①デマンドコントローラー・スマートクロックによる日々の電気使用の監視・管理と電力契約の切り替えによる電気料金削減（総務部門）
- ②省エネ委員活動-----毎日の節電内容を記録、結果を部門毎に全社掲示（全部門）
- ③設備の長期使用・故障対策活動のレベルアップに設備保全技能教育を機械部門の全管理者が受講し技能検定1,2級取得（社長・生産部門）
- ④節電設備推進—全て水銀灯のLED化完了、蛍光灯のLED化の推進継続
(総務・技術部門)
- ⑤毎月月初に電気使用量とCO2排出量のグラフを全社掲示（総務部門）
- ⑥長野県緑の募金への寄付 令和5年 5,712円（総務部門）

2 廃棄物排出量削減

- ①リサイクルゴミ仕分け徹底と可燃ゴミ目標管理・グラフ掲示（総務部門）
- ②配布書類削減のため各種会議でのプロジェクター利用推進（総務部門）
- ③電子媒体促進---公的機関提出物関係電子申請移行推進（総務部門）
- ④廃棄切削油 把握と削減---削減目標管理、グラフ掲示（機械部門）
- ⑥油漏れ対策----職場の3S・機械メンテの徹底と修理等を削減（機械部門）
- ⑦予知保全を考慮した各種設備備品日常・定期点検の実施（技術部門）
- ⑧整備点検教育の実施/各種精度点検・レベル点検実施（機械部門）
- ⑨設備保全技能教育の奨励---令和5年-機械保全技能士資格者 1級8名
(令和5年実施 1名合格) (機械・技術部門)

3 水使用量削減

- ①毎月使用量内訳把握と管理 生活使用水、機械職場4箇所の使用量計測管理、月次使用量のグラフ作成掲示（総務・機械部門）
- ②水漏れ点検の毎月実施（期間内水漏れ無し）（総務部門）
- ③生活排水の節水呼びかけ推進(全部門)

4 化学物質使用量削減

- ①取引先より使用禁止物質の含有量調査（管理部門）
- ②化学物質購入時にSDS取得とSDS管理（総務・使用部門）
- ③主要溶剤の管理削減（組立部門）

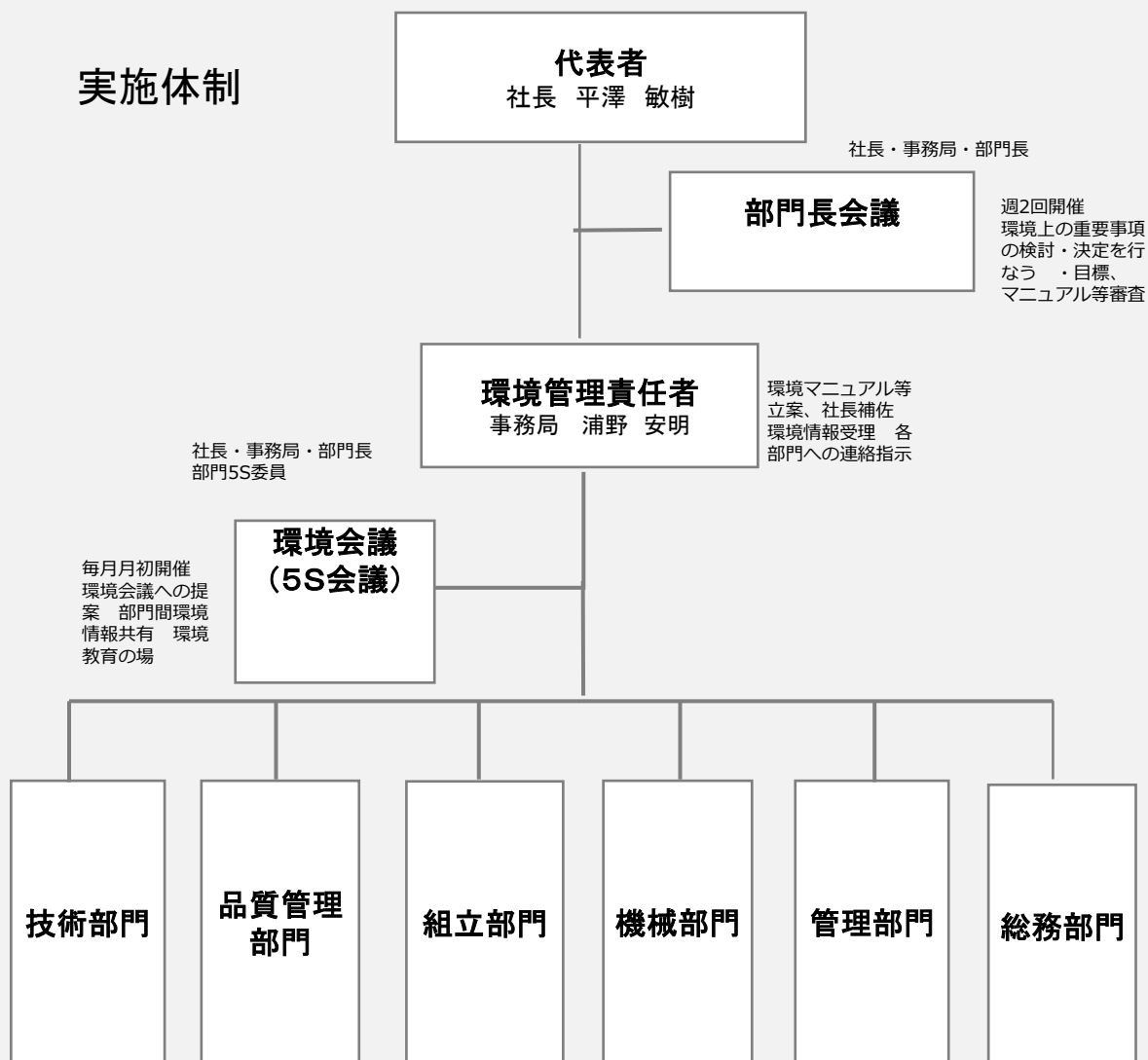
5 グリーン購入の実施

- ①グリーンサプライヤーからの購入維持とグリーン調達基準に基づく購入継続中
(総務・管理部門)

6 製品への環境配慮その他（部門毎実績）

- ①管理部門---新規品の取込み → 毎月 16P 獲得
- ②技術部門--新規品の取込み、工程時間削減、合理化による負荷削減
→ 年間 63 件実施
- ③総務部門--売上増のため助成金利用、資金運用 → 年間 7 件実施
- ④機械部門--加工時間の短縮、工程の短縮、治具化 → 年間 37 件実施
- ⑤組立部門--工程時間削減のための改善 → 年間 12 件実施
- ⑥品質管理部門--不良損金削減24万以下 → 年間平均 ¥ 8,9764

実施体制



部門長と(5S委員)は 全社目標のもとに作成した部門目標・計画に沿った部門内環境活動を実践し報告する。

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果

(評価実績には二酸化炭素排出量を含む)、

並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

7-1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組み結果とその評価

2023年度環境経営目標進捗表

環境目的	具体的目標	責任者/対象部門	目標値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	対象期間 累計 平均値 達成状況	当月コメン ト (未達時)
二酸化炭素 排出量削減	二酸化炭素排出量前年比1%減	総務/全社	kg/CO2/年 昨年比1%以下 (99%以下)	68,667	73,659	61,208	47,765	44,454	56,272	59,472	57,003	54,088	46,173	52,911	56,777.0	56,573	-
	エコ通勤の維持継続 /エコドライブの実施	総務・管理部門長 /全社	エコ通勤月平均 31日以上(1・ 2・12月除く)	54	66	67	68	40	47	40	42	110	118	107	96	91.3	-
廃棄物排出量 削減	可燃ゴミ削減・廃棄物管理	総務部門長・機械部門長/ 全社	ゴミ184.80kg/ 月 廃油 1.567 t/月以下	205 2.0	185 2.0	173 2.2	242 1.8	170 2.3	215 1.7	245 1.5	210 2.0	222 0	132 2.0	150 0	234 1.7	198.6 1.6	ゴミ:× R6棟の油断れを 採取したウエスが 増えてしまい 結果的にゴミ増 となった。 廃油については、 11月回収無く 12月に回収した ので増えた。
	機械・備品の長期使用	各部門長/全社	各部門目標	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	48-48	-
水使用量削減	水使用量維持・管理	総務部門長 機械部門長/全社	89.67 t/月以下	81	82	157	103	97	122	174	129	123	114	92	100	114.50	調査中
化学物質 使用量削減	取引先使用禁止物質の使用中止 /化学物質削減	対象部門長/ 管理製造部門長	活動維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	-
グリーン購入の 実施	グリーン購入維持	対象部門長/ 総務 管理	活動維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	維持	-
製品への環境 配慮 その他	売上・利益UP(経費削減) 新規品獲得	対象部門長/ 管理・総務・技術	部門目標	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	3-3	36-36	-
	工程時間削減・環境負荷削減 の工夫	対象部門長/ 機械・組立・技術・品質	各部門目標	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	4-4	48-48	-
	不良損金削減	品質管理部門長/ 機械	24万/月以下	144,283	98,055	54,144	119,090	18,124	85,379	84,410	73,311	78,385	150,715	118,614	52,660	89,764	-

○は達成・継続中 △は目標値10%未満 ×は10%以上開きがあり未達 -は評価不能 他各目標達成部門(上段左の数)が8割以上○ 5割以下× 他△

2023年環境経営目標の達成状況報告

----- 目標はほぼ達成できた。 -----

「中期環境経営目標」の2年目にあたり、年目標を掲げ活動してきた。

結果は目標10項目に対して達成は8項目だった。

未達は2項目(水の使用量削減、ゴミの削減)であったものの、昨年の未達3項目より改善出来てきている。何よりも重点目標である「製品への環境配慮その他」の具体的な3目標が昨年に続いて達成出来ているのは評価出来る。

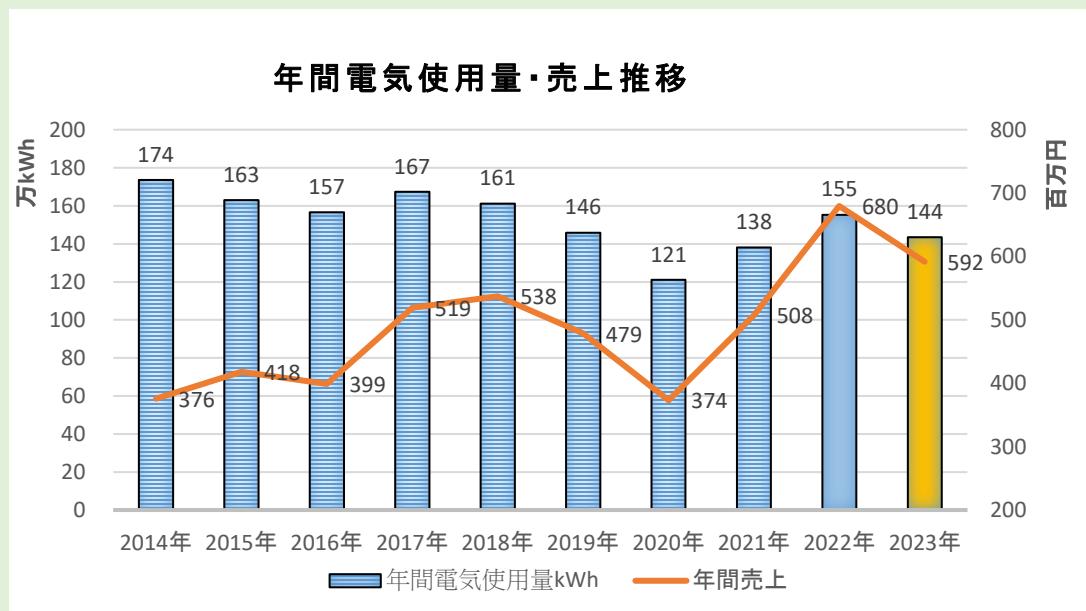
(環境管理責任者)

1 二酸化炭素排出量の削減について

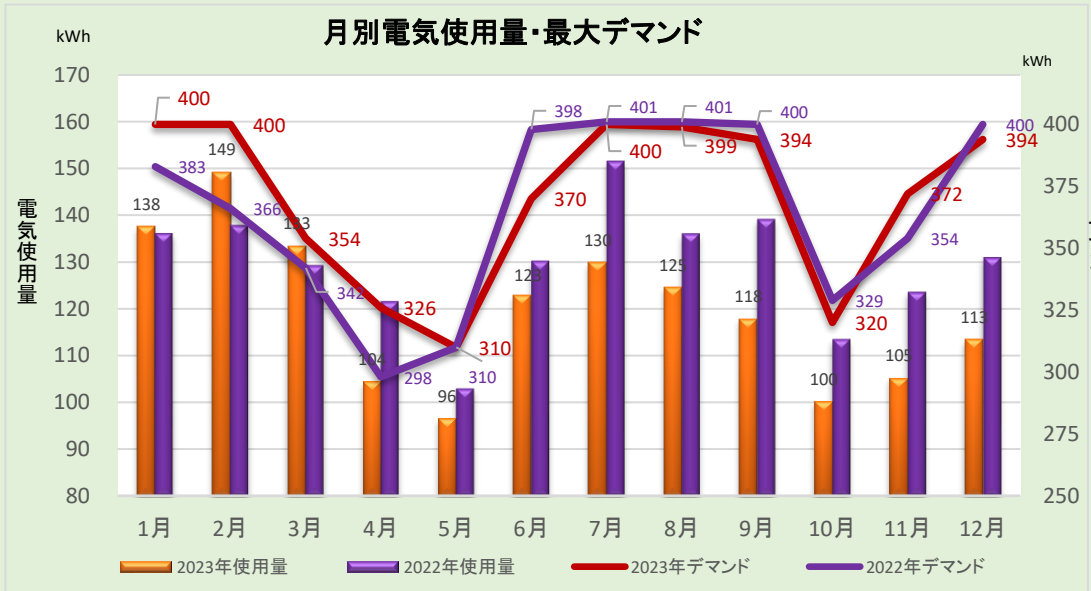
①二酸化炭素排出量727,835kg/CO2以下——678,878kg/CO2 達成



※排出係数0.447(日本テクノ(株))
平成28年度 調整後



※二酸化炭素の排出量は7%近く目標値を下回った。しかし昨年売上対比の削減量としては良くない、これは猛暑によるエアコン使用増と空調設備を増設したことが原因である。しかし電気料金の対比では昨年と比べて20%削減ができています、これは電気契約の見直しの結果であり大いに評価したい。



※電気使用量とデマンドについて

2023年は昨年と比べ猛暑が長引き6月からデマンドも400kWhのピークに迫り電気使用量は9月の猛暑が押し上げた。年々夏場のエアコン使用量が猛暑の影響で期間と使用量も増える傾向にある。快適な職場形成のためにも夏場の空調調整は難しくなっている。

②目標 エコ通勤日数 31日/月 以上(冬季除く)——91.3日/月 全月達成



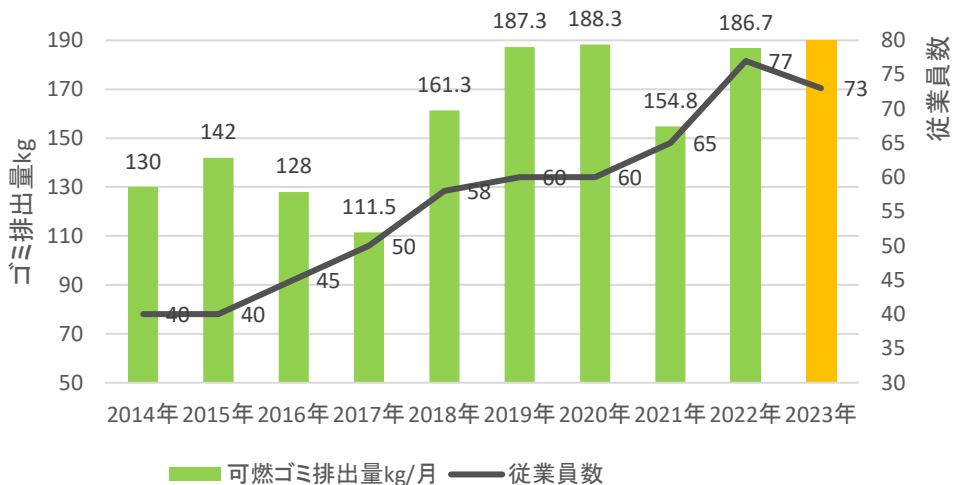
※9月には恒例の長野県主催の「信州スマートムーブ通勤ウィーク」に参加した。
ここ2年程エコ通勤日数が増えてきている、これは新規採用者が増えほとんどが自転車通勤をしているためである。

2 廃棄物排出量削減

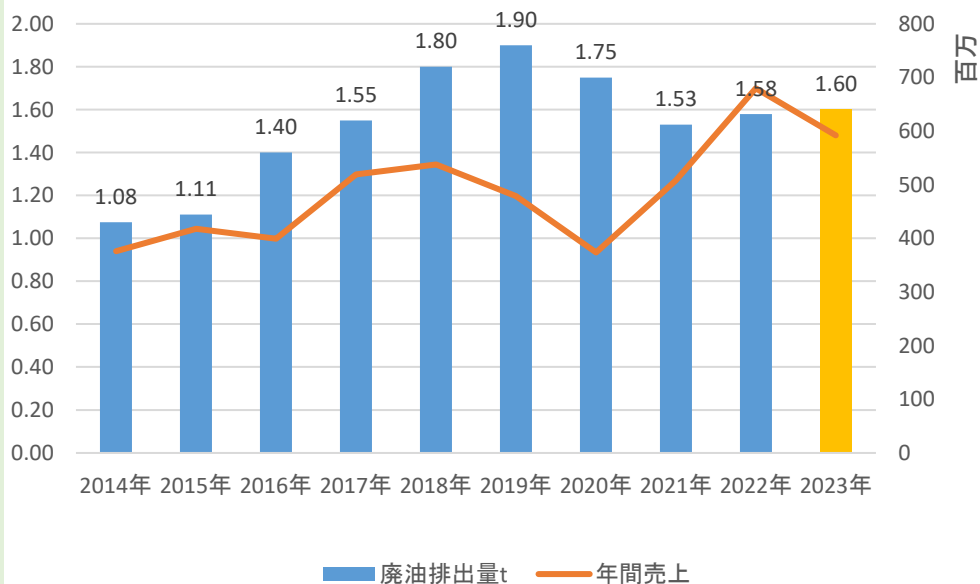
①可燃ゴミ184.8kg/月以下——198.6kg/月 目標未達

②廃油 1.567t/月以下——1.6t/月 目標未達

可燃ゴミ排出量・従業員グラフ

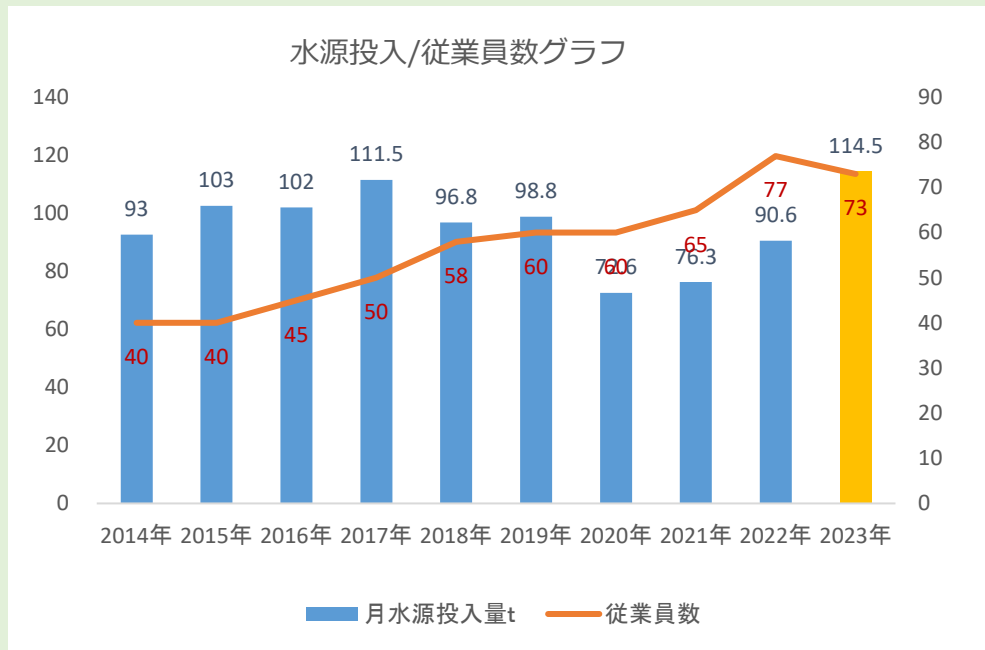


廃油排出・年間売上 売上グラフ



※可燃ゴミでは油の含んだウェスが大きな原因だった・廃油は定期的な機械設備のメンテ分が増えた

3 水使用量削減 数値目標 75.57t/月以下 ----- 114.5t/月 未達



※機械部門では、機械職場内4箇所加算メータ設置により、各エリアで月々の正確な使用量を把握し管理していて増加は無かったが、今年増加したのは外壁工事や防火水槽入替え等の水の使用だった。

4 化学物質使用量削減 目標 取引先使用禁止物質の使用中止 ----- 達成
製造部門・管理部門が維持継続中

5 グリーン購入の実施 目標 グリーン購入の維持 ----- 達成
総務・管理部門が維持継続中

6 製品への環境配慮

- ① 工程時間削減又は合理化による負荷・無駄の削減 ----- 達成
製造部門・技術部門で活動
- ② 売上・利益アップ ----- 達成
3部門対象（管理・総務・技術）で活動
- ③ 不良損金削減 24万/月以内 8.9万円/月 達成
品質管理 機械部門---品質、安全衛生、環境からのアプローチをかけ重点目標として活動してきた。特に3Sの徹底

7-2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

2024年 環境経営計画書

環境目的	具体的目標	責任者/対象	目標値等	2024年の主な行動計画
二酸化炭素排出量削減	二酸化炭素の排出量削減	総務部門長/ 全社	前年実績1% 減(対昨年月 毎)	①デマンドコントローラー・スマートクロックによる 監視・管理 ②節電対策実施 ③節電設備検討 ④省エネ委員活動 ⑤節電表による管理継続
	冬季(12月~2月)を除いた エコ通勤の 維持継続・エコドライブ実施 (管理部門)	総務・管理部門長/ 全社	31日/月以上	①エコ通勤呼びかけ、活動報告掲示 ②駐輪場整備・自転車点検整備等 ③信州スマート・フ参加 ④社用車のエコドライブの実施
廃棄物排出量削減	可燃ゴミと廃油削減	総務・機械部門長 (廃油)/全社	前年実績1%減 (ゴミ 196.60kg/月 以下) (廃油1.584t/ 月以下)	①リサイクルゴミ仕分け徹底呼びかけ ②月ごと結果発表掲示 ③コピー両面使用 ④電子媒体促進、配布書類削減 ⑤廃棄切削油把握と削減 ⑥油漏れ対策
	機械・備品の長期使用	製造部門長/ 製造部門	部門目標	①予知保全を考慮した各種設備備品日常・定期点検の実施 ②整備点検教育の実施 ③各種精度点検の実施 ④レベル点検 ⑤設備保全技能教育
水使用量削減	水使用量維持管理	総務部門長/ 全社	前年実績1%減 (113.36 t / 月以下)	①毎月使用量内訳再把握 ②水漏れ点検 ③生活排水の節水呼びかけ ④月使用量のグラフ作成掲示
化学物質使用量削減	使用禁止物質の使用禁止 使用化学物質削減管理	管理・製造部門長/ 管理・製造部門	維持 部門目標	①使用禁止物質の含有量調査(客先調査協力時)記録 (管理部門) ②新規溶剤等購入時にSDS取得 ③主要溶剤・切削油管理・削減(製造部門)
グリーン購入の実施	グリーン購入継続維持	総務・管理部門長/ 総務・管理部門	活動維持	①グリーンサプライヤーからの購入維持 ②グリーン調達基準に基づく購入継続
製品への環境配慮 その他	売上・利益UP	総務・管理・技術各 部門長/ 同部門	部門目標	①新規品の取り込み、新規開拓 ②材料費の見直し ③経費節減 営業外収益
	工程時間削減・環境負荷削減 の工夫	製造・技術部門長/ 製造・技術部門	部門目標	①工数把握 加工時間短縮 ②工程管理表の有効活用 ③プログラム修正 ④工程削減治具作成 ⑤外段取りの構築 ⑥環境負荷削減の工夫・検証
	不良損金削減	品質管理部門長/ 機械部門	23万/月以下	①不良集計表の作成・掲示 ②不良原因調査・対策実施 ③不具合対策表・不良損金報告書作成

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

最新の「環境法令等登録兼チェック表」の通り

適用法令	項目・条文	内 容	対象品・施設	チェック内容	判定 ○/×
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : R4.6.17改正 (H23.4.1施行) 水銀に関する水保条約 (H29.8.16)	12条2 (産業廃棄物保管基準)	1保管場所の囲い、構造耐力安全であること 2必要な事項を記載した掲示板60×60以上 3保管場所からの産廃の流出等防止、保管場所の衛生管理	・ゴミ置き場 ・廃油置き場 ・危険物置き場 委託契約書 許可証	総務部門 1確認済 2確認済(清掃) 3確認済	○ ○ ○
	12条3 (委託の基準)	運搬又は処分を委託する場合には収集運搬・処分を受けた業者に委託	マニフェスト(管理票)	確認済	○
	12条の3 (産業廃棄物管理票)	1産廃委託する場合種類ごと、運搬先ごと引き渡し時に必要事項を記載してマニフェストの交付とその写しの回収(90日、最終処分180日)回収出来ない場合の措置と報告義務	マニフェスト報告書	1確認済	○
	12条7	2 マニフェスト(写し)の5年保管 3マニフェスト発行状況の報告を毎年6月30日までに都道府県知事へ提出 産廃物の処理状況の確認と適正のための必要処置を講ずる(努力義務) 廃棄物保管場所の掲示板表示	産廃業者 産廃置き場	2保管中 3提出済(2023/6/12) 2023/11/7 電話で確認 2023/11/7 確認	○ ○ ○ ○
家電リサイクル法 H23.6.24 改正	6条 (事業者の責務)	特定家電長期使用、排抑制廃棄の際、適切な引渡し・料金支払	テレビ・エアコン・冷蔵庫洗濯機	総務2017/11以降廃棄無し	-
小型家電リサイクル法 H25.4.1		可能な場合、対象物を分別して認定業者に渡す事	携帯電話・デジタルカメラ他	総務 2023年は該当無し	-
水質汚濁防止法 : H23.8.30改正	12条	特定施設ではない 排水基準に適合しない排水水を排出禁止 (コンプレッサーのドレイン水の油水分離)	コンプレッサー2台 排水管理	業者点検実施済 継続中(月1回) 技術部門 問題なし	○
下水道法 : H26.6.13改正	12条の2	①pH9を超える処理液の場合は、水質汚濁防止法別表1の65酸又はアルカリによる表面処理施設に該当し、特定施設となる。(届出等必要) ②下水道には下水道基準(pH9等)を超える排水を流さない。	バレル室 第二洗浄室 工場内洗面所	機械仕上 第二工場 ①現状該当無 ②バレル室は現在水のみ 第二工場は希釈して排水を実施中	- ○

騒音規制法 :H17.4.27 改正	6条 (設置の届出) 伊那市環境保全条例 (12条)	特定施設を設置する場合市町村長へ届出(コンプレッサー2台) 発生する騒音の規制届出のみ(伊那市)(70-65db以下)	コンプレッサー (37kW2台)	総務部門 届出済 2022/8/25 1台入替 2022/9/5届出済 入替分 2015年 コンプレッサー 10/25オーバーホール点検実施	○ ○ ○
消防法 H26.6.13 危険物の規制に関する規則 H23.2.1 危険物の規制に関する政令 伊那市条例	9条3 第18条 同省令 14条3の2	指定数量以上の危険物があるか届出しているか ①危険物標識の掲示 ②既設地下貯蔵タンクの流出防止対策 2024/10/15までに実施 定期的に点検し、その点検記録を作成し、これを保存 指定数量以下(1/5以上)届出(消防署)	地下タンクの石油 地下タンク 地下タンク 地下タンク 少量危険物置場	総務部門 確認済 届出済 ①確認済 ②2022/10/7 ライニング工事施 届出済 2023/11/定期点検実施 保存確認済 届出確認済	○ ○ ○ ○ ○ ○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 :H14.12.13	2条 5条 (排出量等の把握及び届出) 14条	第一種指定化学物質等取扱事業に該当するか (第一種指定化学物質のいずれかを1年間に1t以上取り扱うか) PRTR制度より排出・移動量の届出(6月まで)	把握後判定	総務部門 非該当	-
フロン排出抑制法 H27.4.1	施行規則による	①機器の設置環境・使用環境維持保全点検・修理を行う作業空間の確保はできているか ②簡易点検・定期点検の実施をする 簡易点検 1回以上/3ヶ月7.5kw未満 定期点検 1回以上/1年---50kw 以上 1回以上/3年----7.5kw 以上 50kw未満 点検整備記録の作成・保存 ③フロン漏洩時の措置 修理が終わりまで充填禁止 一定以上の漏洩は国へ報告義務 ④フロン充填・回収、製品の廃棄は「第一種フロン類充填回収業者」へ委託 必要書面の交付・保存をする	各所工場設置箇所	総務部門 設置部門 ①確認OK ②簡易点検実施済み3月ごと ③漏洩無し ④該当無し	○ ○ ○ -

2023年11月 7日現在の環境法令遵守状況をチェックし、法令に遵守していることを確認しました。また過去3年間違反・訴訟の無いことを報告します。

2023年11月 7日 総務部門長 浦野 安明

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

-----昨年のマネジメントレビューでの代表者からの課題-----

- ①お取引先ごとの前年対比10%upの売上目標値を立てそれを基に月々の目標値を数値化し、自分たちの予測した3か月先の売上予測値との乖離を埋めるべく営業活動をしてみましょう。
- ②さらに5S活動を進め、安全で快適な職場を作りましょう
- ③コンプライアンス（職場倫理）の向上をさらに進めましょう
- ④工場の敷地をふくめ道路にもゴミの放置が目立ちます。月に一度工場回りの美化をしていただいています。わずかですがこれも社会貢献です。社会の役にも立ちましょう。

-----結 果-----

- ①生産会議や品質会議で管理部門や各営業担当者がそれぞれ取引先別に売上目標を掲げてきた。
しかし4月以降は主要取引先の減産、在庫調整等が発生し既存取引先の10%アップの売り上げ目標は修正せざるを得なくなった。大きな乖離に対し新規取引先、スポット売上の受注に力を注ぐ形となったが結果として10%upの売り上げ目標は達成出来なかった。
3ヶ月先の売上予測についてはだいぶ読めるようになってきている。
- ②労働安全衛生MSを全社、各部門で展開している。
- ③各部門は品質ISOの教育訓練として行なっている、また2023年10月13日の全社研修では社長が講師として研修を行なった。
- ④5S委員が何度か会社から隣の商業施設までの道路のゴミ拾いを行なったり、東側国道法面の草刈を行なったりしているがまだまだ社会貢献の度合いは低い。

これからも環境、労働安全衛生、品質と三つのMSを融合化した活動にBCP、CSRを取り入れて当社の売上利益アップへ向けての経営面のツールとして役立つよう活かしていきたい。

<環境管理責任者> 浦野 安明

-----代表者よりのコメント-----

前回のマネジメントレビューの内容の指示事項を確実に理解し、実施されています。

環境目標では、可燃ごみと水の使用量で目標を達成できない月が見受けられます。可燃ごみに関してはウェス等に掃除した時の水を乾かさずに廃棄したことが原因であると結論づけられ、対策が進んでいます。水の使用量についても、外壁の掃除や防火水槽の水入れ等としっかりとした原因が判明しています。

電気使用量は、売上に比例し下がってしまいました。売上が上昇する中で、電気使用量が削減出来れば改善効果が認められたということになります。電気使用料金は、固定性から変動制に切り替えることで効果がありました。

当社の場合、不良を出さないことが、環境負荷の低減につながります。品質管理部門の目標にも掲げられていますが、『客先クレーム 0件/月』が大切です。従業員の皆さんに徹底してください。

環境目標は、中期計画の3年目です。2023年を上回る活動にしましょう。

環境方針変更の必要性 有 無

環境目標変更の必要性 有 無

環境活動計画及び環境経営システム等の変更の必要性 有 無

<代表取締役> 平澤 敏樹

10. その他の取り組み・トピックス

1 環境マニュアルの大幅な見直しをしました

2018年に、2017年版の新規環境マニュアルを制定しましたが、見直しは1度しかしてきませんでした。

今回の見直しにより弊社の品質マニュアルもJISQ9100に対応したものになり、労働安全衛生マニュアルも昨年ISO45001に準拠したものを作成しました。

この2つのマニュアルに適合し現状の環境経営活動に沿った形で、2023年7月に環境マニュアルを改訂しました。

新しい環境マニュアルはこれらの2つのMSと整合の取れたものとなりました。これを補完する形でBCP、CSRの見直しも行なっております。

2 4年連続して「健康経営優良法人」認定、さらに上へ

社員一人ひとりが原動力です
「企業を動かす原動力は『人財』である」

約半世紀、平沢電機が着実に実績を上げ業績を伸ばして来た原動力は、社員一人ひとりが持つ無限のエネルギーと個々の力を最大限活かし発揮できる体制、そして社員が働きやすい組織づくりです。

2020年、当社は初めて経産省の「健康経営優良法人2020」に認定され、引き続き2021年度、2022年、そして今年も「健康経営優良法人2023」の認定を頂くことが出来ました。

2024年も「健康優良法人」の認定を受けられるよう活動し、さらにより高い「職場いきいきアドバンス認証」取得を目指して活動中です。

今後も積極的に健康経営の推進に取り組んでまいります。



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

3 長野県SDGs推進企業として活動中

SDGsへの取り組み

2021年4月「長野県SDGs推進企業登録制度」に登録いたしました。

働きやすい職場環境で一人一人が健康で幸せな生活を送れる会社、地域に根ざしながらも新しい分野へ果敢と踏み出せる活力ある会社を目指しています。

SDGs達成に向けた経営方針等

弊社の経営理念である「この豊かな自然環境に感謝と誇りの念を持ち、一人ひとりが人と地球にやさしい工場作りをしていきます」は、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、すべての人々が幸せを感じられる社会の実現に向けて、我々が自覚を持ってその役割を果たしていくことにより、社員一同SDGsの達成に貢献していきます。

上記経営方針はエコアクション21の活動だけでなく、労働安全衛生目標の中にも具体的な活動目標を掲げ日々の活動として推進しております。

SDGs達成に向けた宣言 と 2023年結果報告

1.エコアクション21の活動に沿って工程改善・省エネ等でCO2の削減に努める。 → **2023年達成しました**

2.高齢者(60歳以上)・身体障害者雇用促進、子育て支援による女性従業員の就業環境改善。

→**2023年度高齢者・身障者雇用比率 2023年11% (2022年10%)**

→**女性従業員子育て支援は3名、内1名は外国での出産支援
学校行事等参加有給支援者多数 他パパ育休支援1名**



SDGs

REGISTERED PARTNER
NAGANO PREFECTURAL
GOVERNMENT

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



4 10月に総合防災訓練・全体研修を実施

1 総合防災実施

10月13日に実施。今回は震度6の地震が発生、その後各職場で火災が発生した（火災は濃煙火災）という状況での防災避難訓練を行なった。地震時の身の安全確保と職場で自衛消防隊の役割通りに的確な消火・濃煙火災に対応した迅速な避難行動等が取れているかを確認するための訓練とした。

初期消火のあとは前回同様濃煙火災時、煙からの避難に重点をおいた訓練をした。事前にアナウンスで再度避難行動の確認事項を指示した上で行なう事でより明確にした。また訓練前の準備として部門毎に各職場での火災発生リスクの高い場所の選定、自衛消防隊名簿や役割の見直し、データのバックアップ、重要持ちだし品の確認、連絡網の見直し等を行なっている。いずれも毎年繰り返す事により、非常時の対応を確実にすることを目的とした訓練とした。

「油漏れ訓練」については例年通り環境マニュアル通りに訓練が出来るか、その確認のための訓練とした。

2 全体研修等実施（防災訓練後の集合研修として）

1 BCP変更事項についての説明

緊急出社メンバーの追加 取引先の追加 ポータブル電源購入報告 今年の従業員携帯カード配布し作成は各自依頼した。

また8/21に発生したゲリラ豪雨について、課題と今後の豪雨対策の確認を行った。

2 エコアクション21環境活動について

現状報告 と2つの目標未達の原因と対策

- ・可燃ゴミ増加は油を吸ったウェスが原因なので脱油処理の依頼
- ・水の使用料増加明確な原因不明、節水の依頼

3 社長によるCSR教育

プロジェクターを使い、教材動画を利用した教育

- ・「CSR調達入門」という30分動画を全員で視聴後、当社のCSR規程について説明を行なった



防災訓練風景

油漏れ訓練



研修風景

